

育成 見附

見附市青少年育成センター

〒954-0051 見附市学校町 2-7-9

TEL 0258-62-5739 FAX 0258-62-2343

Mail : ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

見附市青少年育成センター 5年度の取組

5月17日に開催された「見附市青少年育成センター運営委員会」で今年度の育成センターの運営について、次のように承認されました。恒例の事業を改善・充実させ、効果的に取り組んでいきます。

1 運営の目的

青少年の健全育成を総合的に推進する。

2 運営の方針

- (1) 青少年の健やかな成長を支えます。
- (2) 青少年の非行の未然防止と早期発見に努め、楽しい生活を送るためのアドバイスを行います。
- (3) 青少年の悩みや心配事を、青少年・保護者と一緒に考えます。

3 主な事業

- (1) 街頭指導事業 <愛の一声で非行防止>
青少年が集まりやすく保護者や学校の目の届きにくい場所を巡回し、非行に結びつくと思われる行為に対し、愛の一声（注意・助言等）の適切な指導の手をさしのべ、青少年の自省を促すことで非行を未然に防止していきます。
- (2) 育成相談事業 <青少年なんでも相談>
青少年の不登校、怠学、いじめ、非行等の問題行動や悩み事に関する本人、保護者、学校職員、市民等からの相談に対し助言や相談を行います。

相談内容により、保護者の了解を得て、関係学校との連携や関係機関の紹介及び相談の委嘱を行います。

面接相談：水曜日（9時～16時）

面接場所：青少年育成センター相談室

電話相談：月～金曜日（9時～16時）

(3) 青少年育成事業

○環境浄化活動

青少年を取り巻く社会環境について、有害環境の把握に努め、関係業者の自主規制による協力要請を行っていきます。

○青少年育成関係機関・団体との連携

青少年育成の関係機関・団体との連携を深め、対策を協議していきます。

- ・市立小・中学校（シェイクハンド学校訪問）
- ・見附地区学校警察等連絡協議会
- ・見附市子ども支援対策地域協議会

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

内閣府は、昭和54年の国際児童年を契機として、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、関係省庁、都道府県、市町村、民間団体などと連携して総合的な非行・被害防止活動を展開しています。

我が国の青少年の非行情勢については、令和4年の刑法犯少年の検挙人員は戦後最少であった前年よりも微増し、人口比では20歳以上の者と比べ依然高い水準にあります。また、少子高齢化、インターネットの利用拡大等の進展は、青少年を取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしており、不適切な受発信により、犯罪やトラブルに巻き込まれる機会の増加が引き続き懸念されます。

そこで、学校が夏季休業に入る7月を「青少年の非

行・被害防止全国強調月間」として、関係機関・団体、地域住民等が相互に協力・連携しながら、青少年の非行・被害防止に向けた活動が集中的に実施されます。

新潟県では、「青少年育成活動の実施及び支援」「健全な家庭づくり運動の推進」「青少年の健全な心身づくりと自立の促進」「青少年を取り巻く社会環境浄化運動及び非行・被害防止活動の推進」など6項目を重点に、青少年の健全育成に取り組むことにしています。

「青少年育成センター紹介パンフレット 配付」

見附市青少年育成センターでは、昨年度「青少年育成センターの存在を、市民に広く知ってもらうために、もっと広報すべきである」という声を受けて、A4版(裏表)の紹介パンフレットを作成しました。

裏面には、見附市公式レポーターの村上徹様の漫画を入れることで、子ども達や保護者など誰もが気軽に相談できる親しみやすい機関であることをア

ピールしました。

昨年度の電話相談者(初回)に、どこで育成センターの存在を知ったかを聞くと、子どもが学校からもらってきたパンフレットで、との答えを複数の方からいただきました。

そこで今年度も、夏休み前に市内の小・中・特別支援学校の全児童・生徒に配付するとともに、2つの高等学校にもお届けする予定です。

今年度の青少年指導員の方々を紹介します

街頭指導事業を、26名の「見附市青少年指導員」が推進します。7班編成で市内各所を巡回し、交通ルール違反者などへの注意や、遊戯施設等での子ども達の様子を確認などを行っています。また、市の施設で勉強をしている子ども達を励ましたり、電車待ちの高校生に学校の様子を尋ねたりするなど、愛の声かけも行っています。

(敬称略 ◎印は班長)

1班	◎高橋美佐子	小柳英美子	松原 司	武田 祥尚
2班	◎親 松 巖	関口 光弘	駒形 泰嗣	花上真希子
3班	◎佐藤 宏子	長谷川隆之	齋藤 俊雄	村上 徹
4班	◎西川 直樹	小林 健	(見附高校P)	(創進学園高P)
5班	◎板垣 秀幸	安藤 光子	野本菜穂子	坪井恵理子
6班	◎吉野 敬子	徳橋 良子	近藤 伸彦	
7班	◎清水 芳夫	山本 朝子	渡部美智子	

年間街頭指導予定

- 活動回数 59回
(各班7回以上)
- 従事人数 延214人



※市内の高等学校の先生2名とPTA役員10名(中学校8名、高校2名)が含まれています。

街頭指導報告から

4・5・6月

青少年指導員は、名札(指導員証)を着けて街頭指導に当たっています。悪い行為を注意するだけではなく、道行く青少年を温かく見守ります。

4月6日

ネーブルみつけでゲームをしている男子中学生(3名)と勉強をしている女子中学生(2名)に「帰宅が遅くならないように。」との声かけをした。

5月19日

見附駅で、自転車に乗っている帰宅途中の人や高校生への声掛けを重点的に行った。点灯については、走り始めると自動で点灯する機能により、ほぼ問題なかった。しかし、左右確認をしっかりせず、ちょっと顔を向けるだけの人が数名いた。

6月13日

車でまわりながら、川などに危険カ所がないかを確認した。側溝などには看板が立ててあったり、柵フェ

ンスがしてあったりして、特に危険ですぐに対処しなければならぬ所は見られなかった。しかし、全てをまわったわけではないので、今後も気をつけて見たいと思う。

6月14日

サウンドボールや蔦屋書店、メジャーロードで最近の子ども達の様子を聞いたが、特に問題はないという返事だった。

6月21日

見附駅東口で喫煙をしていた大人に、喫煙所に移動するよう促したら、素直に従ってくれた。

ネーブルみつけ内で、市内高校男子生徒3名が学習していた。テストが翌日とのことで、帰宅時間を確認の上、頑張るように励ました。